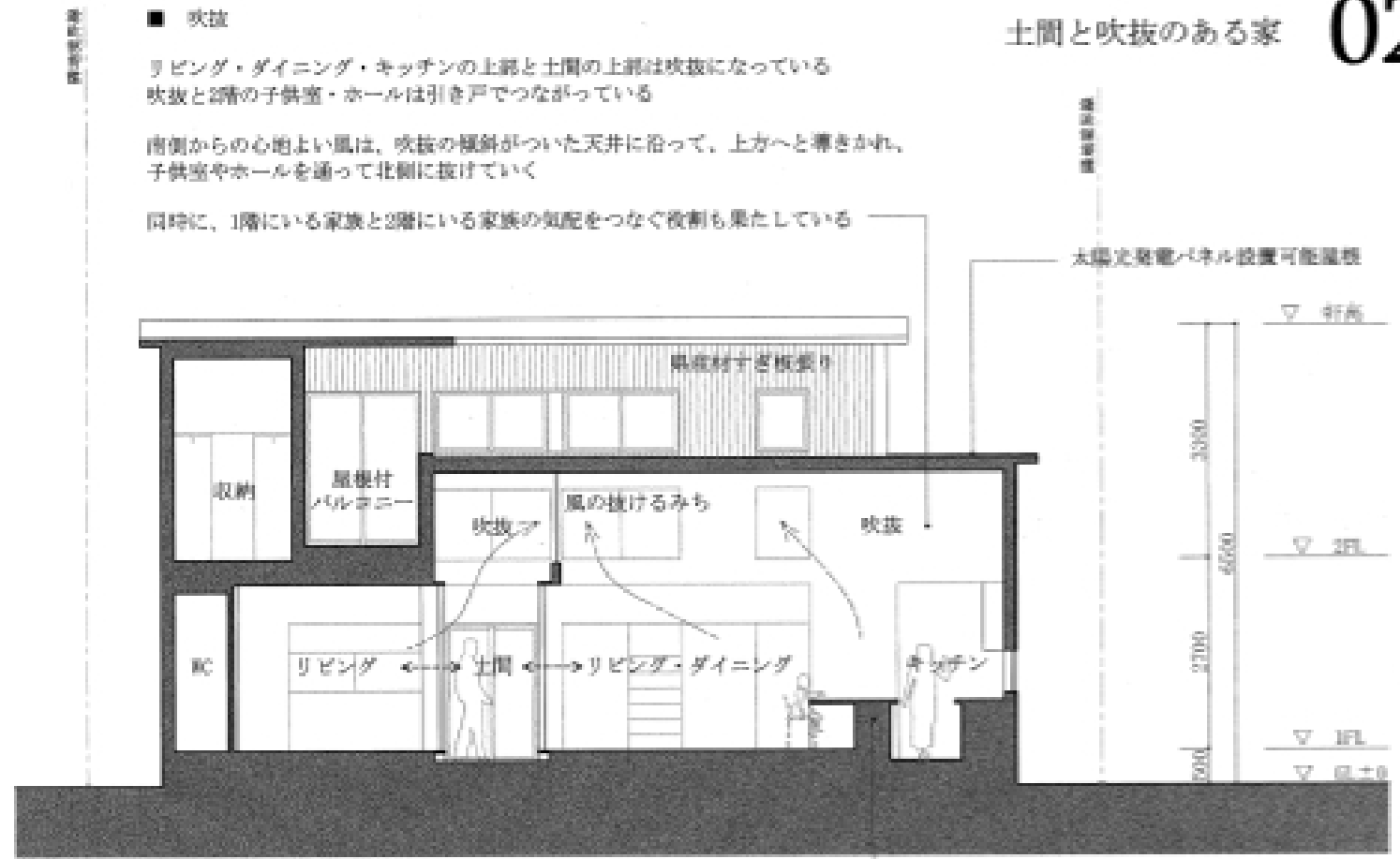


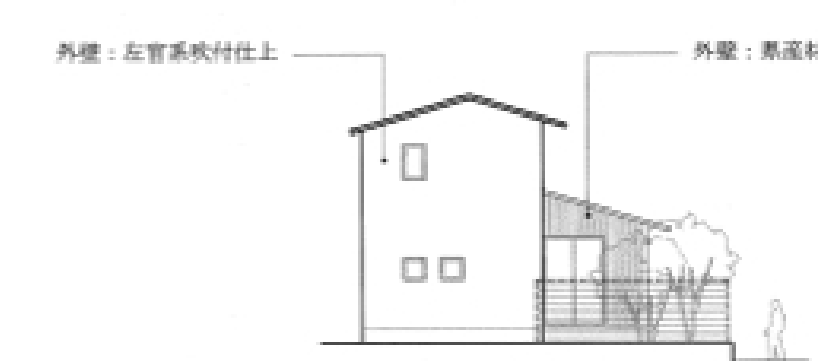
短辺方向 断面図



長辺方向 断面図



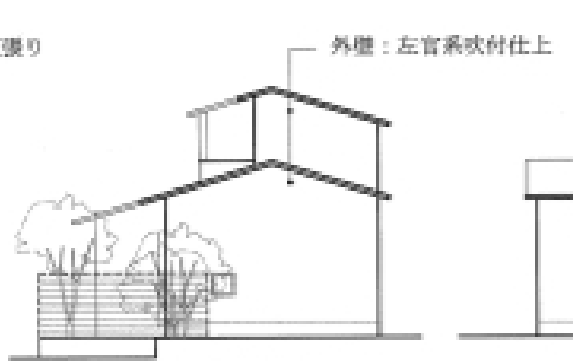
■ キッチンカウンター
ひろびろとしたキッチンカウンターは、スタディーコーナーとして子供が宿題をしたり、お菓子を食べたり、料理を手伝ったりすることができる場所
ダイニング側からとキッチン側、両方から使いやすい高さにするため、キッチンの床は15cm下げる



西立面図



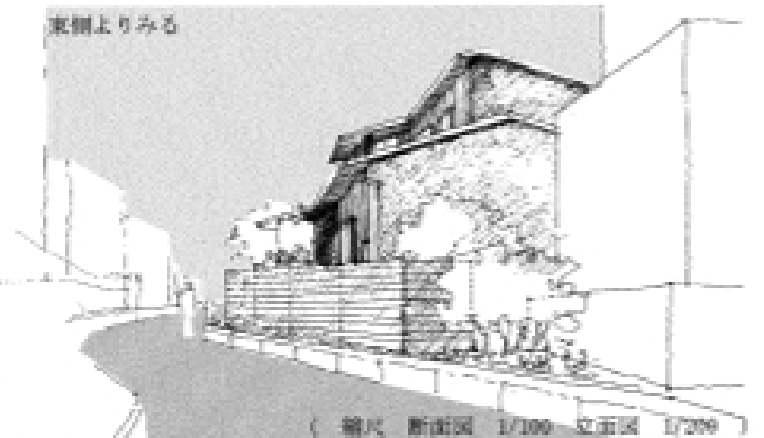
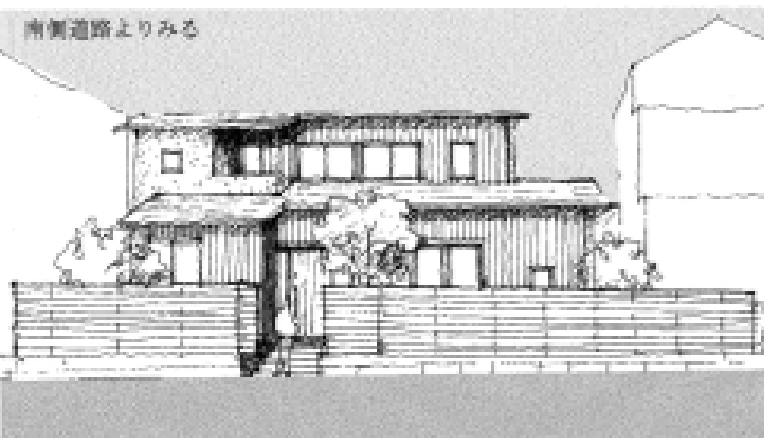
南立面図



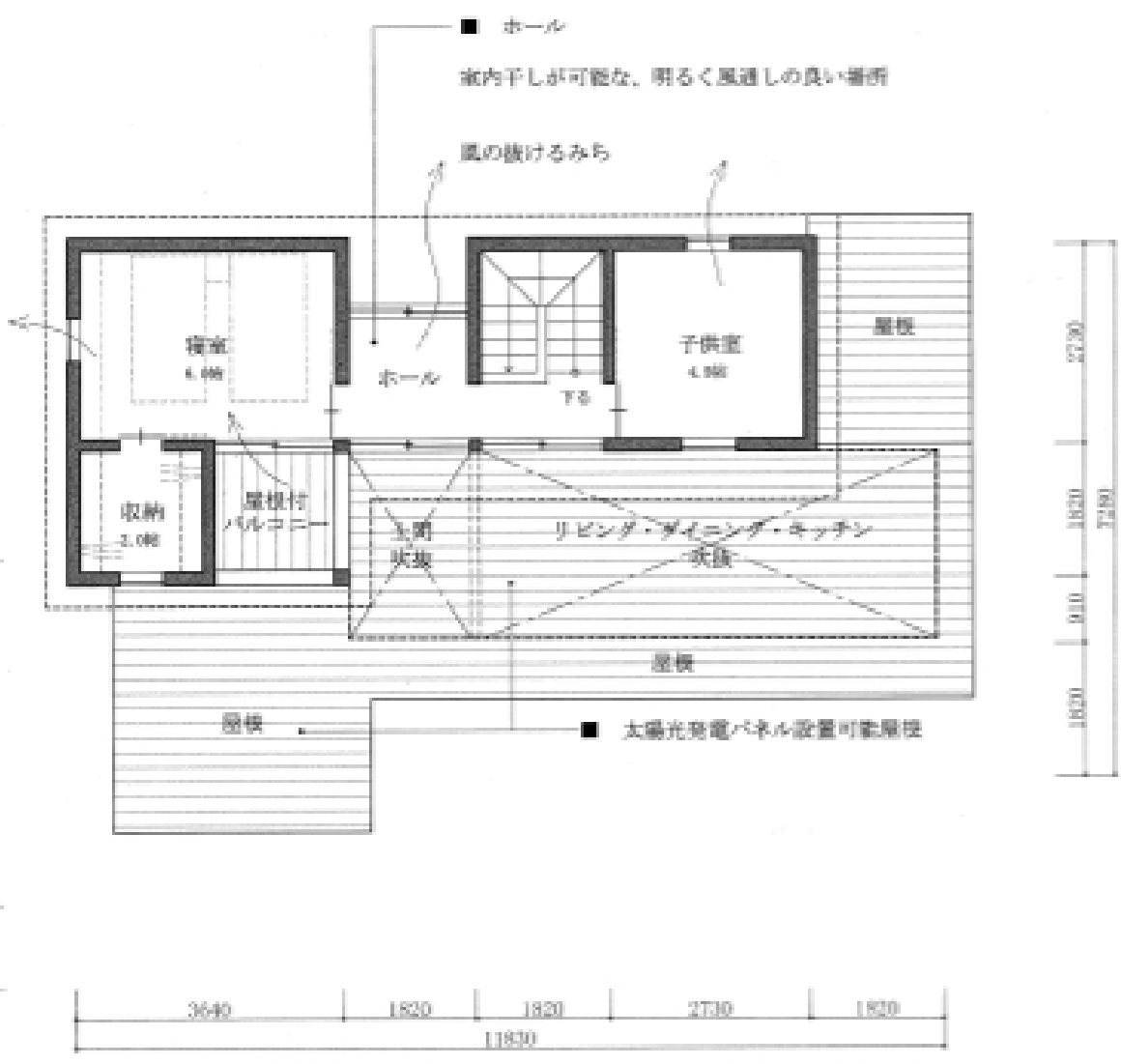
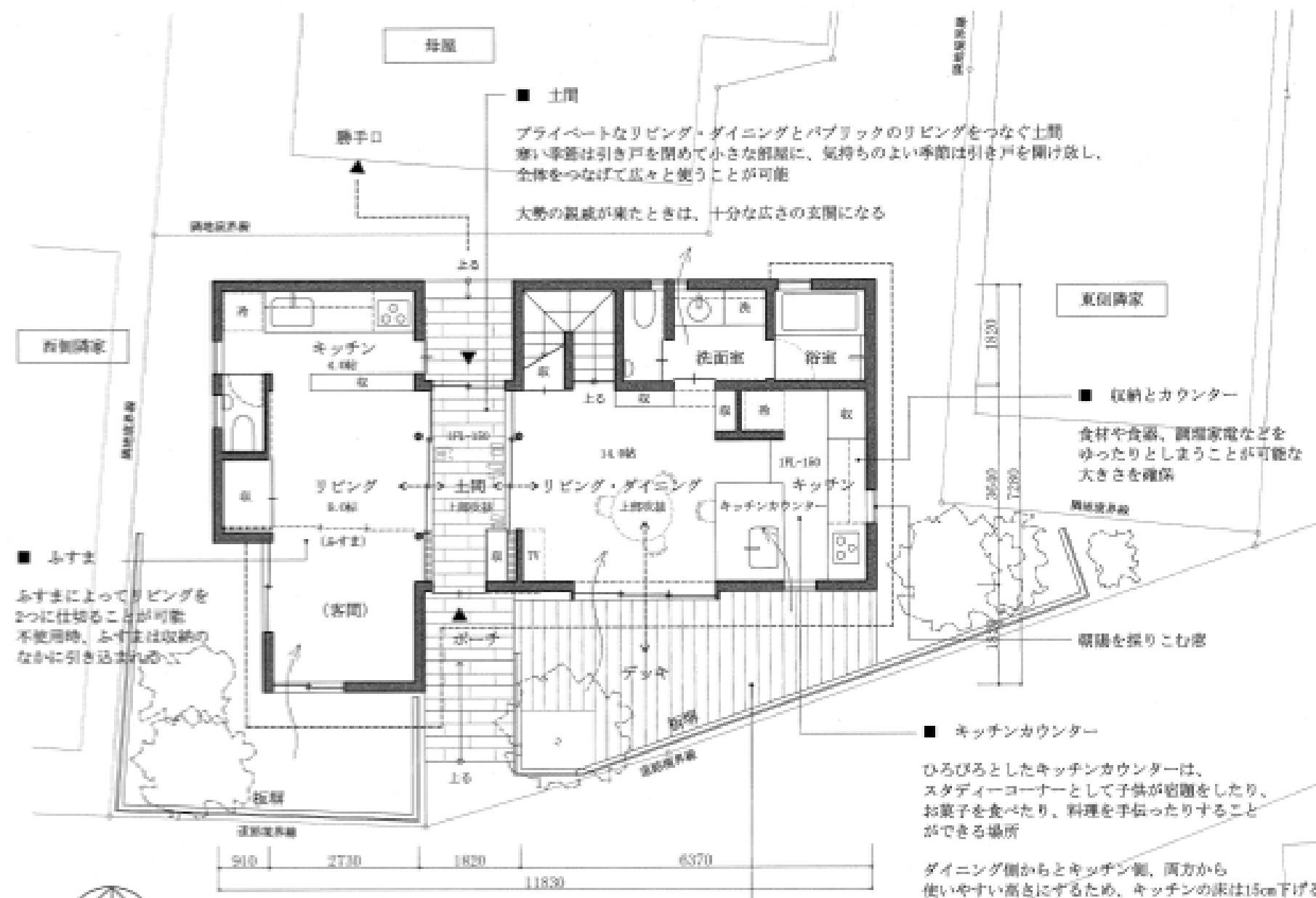
東立面図



北立面図



- 概要
 - 敷地面積 190.60㎡
 - 建築面積 68.74㎡ (30.75坪)
 - 延床面積 94.41㎡ (28.50坪)
 - 内訳
 - 1階 65.45㎡ (19.75坪)
 - 2階 28.96㎡ (8.75坪)
 - 建蔽率 36.07% (MAX 60%)
 - 容積率 49.54% (MAX 200%)
 - 規模 地上2階建て
 - 構造 木造軸組み工法
- 主な仕上げ等
 - <構造>
 - 県産材ひのきの土台と柱、県産材すざの梁を中心とした軸組み構造
 - <内装>
 - 天井：塗装仕上
 - 壁：塗り壁
 - 床：県産材すざ板フローリング
 - 柱・梁露出部分：県産材ひのき・県産材すざ
 - <外装> (別途工事)
 - デッキ：県産材すざ板デッキ
 - 板葺：県産材すざ板
 - <外観>
 - 屋根：化粧スレート葺き
 - 外壁：県産材すざ板張り・左官系吹付仕上
 - 窓等：アルミサッシ (ペアガラス)



■ 「土間と吹抜のある家」 設計主旨

県産材の構造部材を中心に使用した木造軸組の家を目指します。
外壁は南側の一部を県産材すざ板張りとし、内部では床材に県産材すざを使用します。

県産材の無垢の木とつきあっていくには、手間と時間をかけながら接していく
ことが必要です。この経験は、親しみを持って地域のことを想うことにつな
がっていくはずです。

土間は、プライベートとパブリックをく分け・つなげる>場所であり、さら
に室内の広さを調節する役割を担います。寒い季節は小さな部屋に、気持ち
のよい季節は全体をつなげて広々とした部屋にすることができます。土間は
大勢の来客に対しても十分な広さです。

リビング・ダイニング・キッチンと土間の吹抜は、2階の子供室・ホールと引
き戸を介してつながっています。南からの心地よい風は吹抜に導かれ、子
供室やホールを通して北に抜けていきます。さらに家族の気配もつないで
いきます。

1階に設けた水周りキッチンにより、1階だけで生活を成り立たせることも
可能です。これは将来のバリアフリーへの配慮です。また水周りキッチン
を近接させ、コンパクトな日常動線となるよう計画しました。



(縮尺 平面図 1/100)